

宮城のはじまり、東北のはじまり

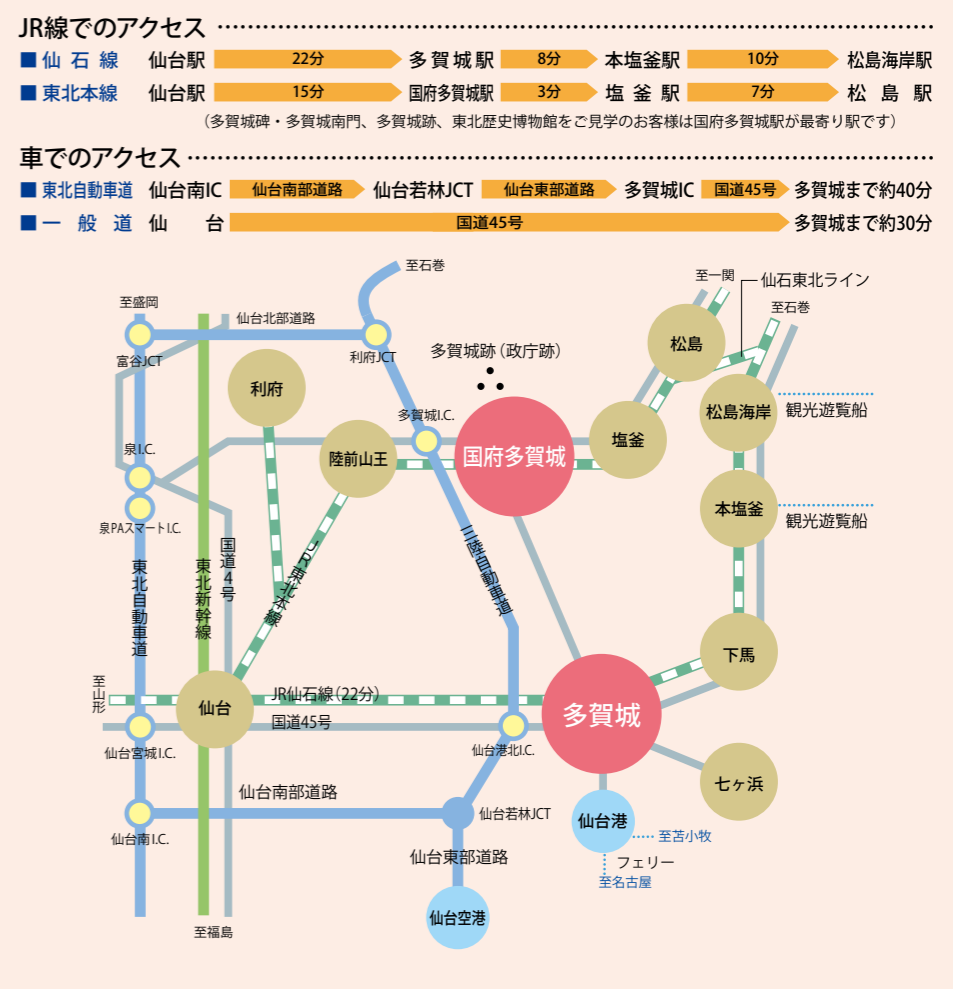
T A G A J O



- 観光コース案内**
- ◎日本遺産を巡る
国府多賀城駅⇒(徒歩10分)⇒多賀城碑・多賀城南門⇒(徒歩2分)⇒多賀城政庁跡⇒(徒歩15分)⇒陸奥総社宮⇒(徒歩20分)⇒東北歴史博物館⇒(徒歩10分)⇒多賀城廃寺跡⇒(徒歩10分)⇒国府多賀城駅
 - ◎塩竈街道を行く
陸前山王駅⇒(徒歩15分)⇒伏石⇒(徒歩1分)⇒貴船神社⇒(徒歩1分)⇒多賀城神社⇒(徒歩2分)⇒多賀城政庁跡⇒(徒歩5分)⇒多賀神社⇒(徒歩3分)⇒高低几号標⇒塩釜方面へ
 - ◎歴史・文化をたどる
多賀城駅⇒(徒歩15分)⇒おもわくの橋・野田の玉川⇒(徒歩15分)⇒埋蔵文化財調査センター(展示室)多賀城史遊館(古代体験)⇒(徒歩10分)⇒多賀城市立図書館⇒(徒歩1分)⇒多賀城駅
 - ◎震災復興の軌跡を追う
多賀城駅⇒(徒歩1分)⇒多賀城市立図書館⇒(徒歩1分)⇒多賀城市東日本大震災モニュメント⇒(徒歩10分)⇒末の松山・沖の井⇒(徒歩15分)⇒“さんみらい多賀城・復興団地”内松島蒲鉾本舗多賀城工場蒲鉾手焼体験⇒(徒歩15分)⇒中野栄駅
※津波浸水区域内の電柱には、地元高校生が設置した津波到達ラインの表示があります。

- タクシー会社**
- (有) 振興タクシー Tel.022(364)3355
 - (株) 塩釜東光タクシー Tel.022(364)2424
- 一般貸切バス**
- (株) 仙塩交通
多賀城市町前2丁目2-5 Tel.022(366)5666

- 宿泊施設**
- ホテルキャッスルプラザ多賀城
多賀城市桜木1丁目1-60 Tel.022(367)1111
 - ホテルリブマックス多賀城
多賀城市八幡4丁目7-52 Tel.022(362)3131
 - 小野屋ホテル
多賀城市大代1丁目9-2 Tel.022(362)6381
 - 新富旅館
多賀城市桜木1丁目1-28 Tel.022(364)8921
 - ホテルルートイン仙台港北インター
多賀城市町前1丁目1-15 Tel.022(361)8501
 - ホテルルートイン多賀城駅東
多賀城市八幡4丁目4-77 Tel.050(5847)7301
 - スマイルホテル仙台多賀城
多賀城市町前1丁目1-8 Tel.022(367)6001



観光ボランティアガイド

ボランティアガイドの案内により、多賀城跡や多賀城碑などの日本有数の歴史的文化遺産をより身近に感じてご覧いただくことができます。また、自転車で名所・旧跡を巡りたい方のためにレンタサイクルを用意しております。

ボランティアガイド

- 案内時間
年末年始・お盆休みを除く8:30~17:00まで。
- ガイド料
ガイド料は有料です。(詳細はホームページでご確認ください。)
また、ガイドの随行に必要な交通費、食費、入場料金などの実費が生じる場合は、ご利用の方に負担していただきます。
- 予約申込方法
ご利用希望日の10日前までに、観光協会ホームページまたは、FAXでお申し込みください。

レンタサイクル

- 料金
1時間につき、電動アシスト自転車300円、スポーツ自転車200円、シティーサイクル150円です。
- 貸出場所と利用時間
◎史都多賀城観光案内所 (JR仙石線多賀城駅内)
10:00~16:00
※詳細はホームページでご確認ください

- 多賀城市**
- 〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1 TEL.022(368)2085 (直通)
多賀城市市民文化創造課 ◎Eメール kanko@city.tagajo.miyagi.jp
- 多賀城市観光協会・史都多賀城観光案内所**
- 多賀城市観光協会
- 【JR仙石線 多賀城駅内】**
〒985-0873 宮城県多賀城市中央2-7-1 TEL.022(364)5901 FAX.022(364)9905 開所時間/10:00~16:00
※詳細はホームページでご確認ください
- 史都多賀城観光案内所
- 【多賀城跡ガイダンス施設】**
〒985-0864 宮城県多賀城市市川字立石3-2 TEL.022-781-8101 開所時間/9:00~16:30





西

多賀城 京を去ること五百里
蝦夷国の界を去ること二百二十里
常陸国の界を去ること四百十二里
下野国の界を去ること二百七十四里
鞆鞆国の界を去ること三千里

此城は、神亀元年、歳は甲子に次る 按察使兼鎮守將軍 従四位上 熱四等大野朝臣東人の置く所也。天平宝字六年、歳は壬寅に次る 参議東海東山節度使従四位上 仁部 省御兼按察使鎮守將軍藤原忠美朝臣朝徳、修造する也。

天平宝字六年十二月一日



多賀城碑(霊碑)

七六二年に建立され、西を正面にして立ち、石碑には京などから多賀城までの距離及び大野東人(おのおのあさまひと)が多賀城を創建し、藤原朝徳(ふじわらのあさかり)が修造したことなど、一四一文字が刻まれています。現在は、日本三古碑のひとつに数えられています。

また、平安時代の終り頃から登場する歌枕の地とされ、西行や源頼朝の和歌で知られています。江戸時代初めに多賀城碑が発見されるとすぐ「霊碑」の名で呼ばれ、松尾芭蕉は碑と対面した感動を紀行文「おくのほそ道」に書き残しています。

(国宝・国名勝・日本遺産)

歴史のまち多賀城

多賀城跡は平城宮跡(奈良県)、大宰府跡(福岡県)とともに日本三大史跡に数えられています。市域の1/4が遺跡になっているなど、古代には東北の拠点であった場所です。

東北随一の文化交流拠点

1,300年前東北の政治・軍事の拠点であった多賀城は、文化の拠点でもありました。現在も東北歴史博物館や平成28年3月にオープンした市民の「知の拠点」市立図書館など文化施設が充実しており、東北随一の文化交流拠点を目指しています。

多賀城創建 1300年

724(神亀元)年に創建され、陸奥国府が置かれるなど、古代東北の政治・文化の中心として繁栄した「多賀城」が2024(令和6)年に創建1300年という節目の年を迎えました。

歴史のまち

多賀城とは??

約一三〇〇年前の奈良時代に陸奥国を統治するために設置した役所。神亀元年(七二四年)に大野東人(おのおのあさまひと)が仙台平野を一望できる丘陵上に創建しました。当時の行政組織である「国府」と兵士の駐屯・監督場所である「鎮守府」が置かれ、万葉歌人として有名な大伴家持や征夷大將軍坂上田村麻呂が赴任するなど東北の政治・軍事・文化の拠点として栄えました。



多賀城跡(政庁跡)

約九〇〇m四方に及ぶ多賀城跡の中央に約一〇〇m四方の政庁跡があります。政庁は陸奥国の重要な政務や儀式が行われた場所でした。陸奥国府も置かれ、平安時代に都の貴族たちはこの地を「みちのく」の名で愛こがれ、国府の官人だけでなく幾人も歌人が歌を詠んでいます。

(特別史跡・日本遺産)



多賀城廃寺跡

政庁跡の南東1kmにあり、奈良時代のはじめに多賀城の附属寺院として建立されたもので、伽藍配置は大宰府(福岡県)の付属寺院・観世音寺と共通しています。現在は史跡公園となっています。

(特別史跡・日本遺産)

スマートフォンアプリ 歴なび多賀城

多賀城政庁跡、多賀城廃寺跡で、「歴なび多賀城」を起動すると、当時の建造物や松尾芭蕉などがVR・ARで再現でき、市内に点在する文化財の解説などもみることが出来ます。ダウンロードは、App storeまたは、Google playで検索。

対応言語：日本語、英語、繁体語、簡体語、韓国語



歴なび多賀城



歌枕の地、多賀城



末の松山

ちぎりきなかたみに
そてをしほりつつ
すゑのまつ山なみこさじとは
後拾遺和歌集 清原元輔

「末の松山」は、恋愛をテーマにさまざまな歌に多く詠み込まれた歌枕の地。八幡地区にある宝国寺裏の丘にあり、今も松の木が天高くそびえ昔日の名残をとどめています。俳聖・松尾芭蕉も「おくのほそ道」紀行の中で訪れています。

(国名勝・日本遺産)



興井の石・沖の井

わが袖は
汐子に見えぬ沖の石の
人こそ知らね能くまもなし
小倉百人一首 二条院讃岐

末の松山の南住居地に囲まれた一角にあり、池とそとの大きな石が目をはきまします。江戸時代には仙台藩に興井守が置かれて、大切に保護され、現在も地元の人々がその伝説を引き継ぎ守り続けています。

(国名勝・日本遺産)



野田の玉川

ゆふされば
しほ風こしてみちのくの
のだの玉河千鳥なくなり
新古今和歌集 能因法師

おもわくの橋

ふままうき
もみぢのにしき ちりしきて
人もかよわぬ おもはくのほし
山家集 西行法師

野田の玉川のせせらぎに架けられた「おもわくの橋」には、前九年の合戦で知られる安倍貞任と恋人の「おもわく」の恋物語が伝えられています。



みちのくを旅する松尾芭蕉

(絵は俳人の書画美術「蕪村」から)

奈良・平安時代に都から多賀城へ赴任した人々が、周辺の美しい自然を歌に詠み込んだことから、多賀城は都人のあこがれを集め広く親しまれていました。この時代の和歌に詠まれ全国的に知られていた名所は、「歌枕」と呼ばれ、江戸時代、仙台藩主や俳人などにより歌枕の整備が行われました。

松尾芭蕉は「おくのほそ道」の旅路で霊碑を訪れ、涙が流れそうになるくらい感動したことを記しています。

多賀城 史都ガイド



古代都市・多賀城。多くの官人や文人の足跡から、この地が、かつて東北最大のまちであり、都から、はるか遠くにあるあこがれの地として深く印象づけられていました。

いま、多賀城のまちを歩けば、そこかしこに いにしえの人々のささやきが聞こえてきそうです。

R7.9月時点

1 多賀城政庁跡

奈良時代のはじめから約300年間、陸奥の国府と鎮守府が置かれ、東北地方の政治・軍事の拠点でした。



2 多賀城南門と築地塀

多賀城創建1300年を記念して復元された南門と築地塀は、8世紀中頃（政庁II期）のもので、多賀城外郭に設けられ、東北の政治・文化の中心であった多賀城の入り口にあたる重要な施設とされています。



3 多賀城碑（壺碑）

神亀元年（724年）の創建年代などを刻んでおり、歌枕「壺碑」ともいわれ、松尾芭蕉も訪れています。令和6年8月27日に国宝に指定されました。



4 多賀城跡あやめ園

多賀城跡の一角にあり、あやめ・花菖蒲など800種、300万本が咲き乱れ、市民や観光客の目を楽しませます。シーズンには、「多賀城跡あやめまつり」が開催されます。



毎年あやめの開花する6月中旬から6月下旬まで多賀城跡あやめまつりが開催されます。

5 東北歴史博物館

東北地方全域を視野に入れた歴史系博物館。旧石器時代から現代までの歴史を中心とした展示、映像上映を行っており、移築・復元した古民家では東北の伝統文化を幅広く紹介しています。

利用時間：9:30～17:00
（入館は16:30まで）
観覧料：個人／一般460円、小・中・高校生は無料
団体／一般360円 ※20人以上
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始
TEL022-368-0106



6 多賀城廃寺跡

多賀城とともに建立された付属寺院。大宰府観世音寺と伽藍配置が同じであり、寺院も観世音寺の可能性が高いと考えられています。



7 埋蔵文化財調査センター展示室

常設展「古代都市多賀城」では、発掘調査によって出土した様々な資料をもとに当時の多賀城を紹介しています。
利用時間：9:00～16:30
休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
TEL022-368-0134



8 多賀城跡ガイダンス施設

デジタル技術により約1300年前に栄えた古代都市多賀城を再現した映像や多賀城南門復元記録の映像を視聴できます。特別史跡多賀城跡附寺跡を学習することや歴史の学びを通じて文化財の価値を高め、市内外に魅力を発信するための施設です。
利用時間：9:00～16:30
TEL022-781-8101



多賀城グルメブランド

古代米グルメ「しろのむらさき」

多賀城市観光協会が、平成28年1月に発表した古代米を使用した多賀城グルメブランド「しろのむらさき」。一般的なお米に比べ、古代米はミネラル、ポリフェノールなどの栄養素が多く含まれ、美容や健康にもうれしい食材です。取扱い店舗は、多賀城市観光協会HPをご覧ください。

宮城オルレ多賀城コース（令和7年11月オープン）

■オルレとは
韓国・済州島の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味で、自然や民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くのが魅力のトレッキングです。

■宮城オルレについて（コースの最新情報は宮城オルレHPをご覧ください）
宮城オルレは済州オルレの姉妹版で、2018年10月に「気仙沼・唐桑コース」及び「奥松島コース」がオープンしてスタートしています。

宮城オルレHP